



男女共同参画推進室ニュースレター

olive・heart

特集 女性に対する暴力の防止に向けて

Afternoon Meeting vol.5のご案内

「セクシュアル・ハラスメント防止週間」



**国家公務員
セクシュアル・ハラスメント
防止週間 12/4～10**

セクハラのない良好な勤務環境作りへ
～セクハラのない職場を目指して～
セクハラについてお悩みの方は、各府省のセクハラ相談員、
人事担当、又は人事院の各相談窓口にご相談ください。
人事院 <http://www.jinji.go.jp>

12月4日～10日までを国家公務員の
セクシュアル・ハラスメント防止週間」と
定め、防止対策を推進しています。

香川大学では、各部局にハラスメント相
談員を配置し、相談に応じています。

また、男女共同参画推進室でも、ハラス
メント相談員のコーディネイターがあなた
の悩みを伺います。

11月22日(金)のAfternoon Meetingで
は、セクシュアル・ハラスメント防止週間
を前に、安心して安全な環境作りについて意
見交換を行います。

○日時：平成25年11月22日(金) 12:10～12:55

○場所：第3会議室(本部棟5階)※人数が多い場合は変更有

○対象：教職員(セクハラ相談員の方はぜひご参加ください)

○コメンテーター：法学部 平野 美紀 教授

○申込先：男女共同参画推進室 sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

お弁当をご持参ください。当日参加も可能です。

みなさまのご参加お待ちしております。



目次:

Afternoon Meeting vol.5 ... 1	
暴力のない安心安全な環境作り を目指して.....	2
デートDV防止研修会	3
香大っこサポーター活動報告. 4	
新米パパママ講座.....	5
次世代育成(リケジョカフェ、 出前講座)	6

暴力のない安心で安全な学内の環境作りをめざして

暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成する上で克服すべき重要な課題です。

女性に対する暴力の根絶

配偶者間暴力(DV)
セクシュアルハラスメント
(スクールセクハラ)
人身売買
性暴力など



多くの人に関わる社会的問題である

男女共同参画推進に向けた残された課題
国連から日本の男女平等の遅れに厳しい指摘

あなたが悪いわけじゃない

被害者の回復を助ける7つのポイント

なにより、支援する側が二次被害を起こさないこと

- ① 被害者を責めない
- ② 被害者の罪悪感や自責感を助長しない
- ③ 被害者の気持ちをよく聴く
- ④ 被害者が悪いわけではないことを理解してもらう
- ⑤ 被害者がおかしいわけではないことを知ってもらう
- ⑥ 被害者の感情を認める
- ⑦ 被害者を無力化せず、有力化(エンパワメント)する

【一番伝えたいこと】☆どんな人でも、嫌なことを無理強いされたら、拒否する権利がある ☆たとえ、傷ついても人には回復するパワーがある ☆あなたの知識や、あなたの一言が、誰かを助けるきっかけになることがある

ドメスティック・バイオレンス DV 親密なパートナー間の暴力



©西原理恵子

☆許すか許さないかは、被害者が決めること

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間

内閣府その他の男女共同参画推進本部構成府省庁の主唱により、11月12日から25日までを期間として「女性に対する暴力をなくす運動」が実施されます。

男女共同参画推進室では、女性に対する性暴力に関する事件の対応策として、「女子学生のための性のトラブルほっとライン」を新たに開設しました。社会福祉士の資格を持つコーディネーターが対応します。大学はセクシュアル・ハラスメントや学生間のデートDV、性的な暴力の未然防止に一層の配慮が求められています。

TEL 080-8635-9102

【開催予告】全学研修会・法学部FD

「安心して働ける・学べる環境づくり
デートDV防止研修会」

教職員や学生にとって、安全な職場・学習環境は、安心して修学・就業を続けていくために欠かせないものです。そのため、大学には安全な環境整備に対する配慮が求められています。また、たび重なる事件を受けて、本年6月にはストーカー規制法及びDV防止法が改正され、デートDVに関してさらに学ぶ機会が必要とされています。

講師の中島幸子氏は、DV被害にあった経験をきっかけに勉強を始め、米国にて法学博士号、ソーシャルワークの修士号を取得。香川県内を含めて各地で毎年多数の講演活動を行っています。

デートDVの被害者の相談相手は友人であり、2009年に香川大学で実施されたアンケート調査でもデートDV被害の相談先は圧倒的に友人が多いという結果となっており、相談を受けた時の対応が重要です。昨年に引き続き、デートDVの基礎知識、その予防と対応、被害者の心理的な影響についてお話しいただきます。

日時 平成25年11月20日(水)13:00～14:30

講師 中島 幸子 氏【NPO法人レジリエンス代表】

場所 第31教室(経済学部1号館3階)

対象 全学教職員(法学部教員はFD)、学生、関係者

講師紹介 中島 幸子 氏 (NPO法人レジリエンス代表)

杏林大学医学部非常勤講師・東京医科歯科大学 非常勤講師

プロフィール：DVコンサルタント、ソーシャルワーク学修士、米国法学博士、DV被害にあった経験をきっかけに勉強を始め、米国にて法学博士号、ソーシャルワークの修士号を取得。2001年からDVや性暴力についての講演活動を開始し、2003年支援団体NPO法人レジリエンスを結成。各地で毎年多数の講演活動を行っている。



「女性に対する暴力をなくす運動」
スター」

性のトラブルほっとライン



※個人の秘密は厳守※

受付時間：月～金（土日祝除く）

10:00～17:00

全学部の女子トイレの個室に上記ステッカーを貼付し、相談窓口の周知を実施しています。

性に関する悩み、恋愛に関する悩み、恋愛に関する人間関係、セクシュアルハラスメント、デートDVなどの相談に女性のコーディネーター（社会福祉士）が丁寧にお話を伺い対応します。

定員364名

男女共同参画推進室まで

ご予約をお願いします。

(法学部教員は不要)

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

香大っこサポーター活動報告会&託児実習 報告

10月1日（火）に香大っこサポーター活動報告会と 託児体験追加実習を実施しました。

香大っこサポーター活動報告会では「香大っこサポーター養成講座」、「託児体験実習」、「児童サマースクール」、「学会個別託児」で活動したサポーターから報告がありました。子どもたちとの接し方の戸惑いが時間と経験を積むことで解消され、子どもたちと積極的にかかわっていく様子がサポーターの報告から伺えました。託児ボランティアあゆみの代表 梶ヶ谷さんはそれぞれの活動に対してご助言をしてくださり、特に泣いている赤ちゃんを辛抱強くあやしていたサポーターの根気強さに感心されていました。

今回の託児体験実習も国分寺子育て広場「ぶんぶん」の保護者の方々に協力いただき、6か月から2歳までの6名の乳幼児の託児を実施しました。

保護者からお預かりするときは、やや緊張した面持ちでしたが、前回の託児体験実習に参加したサポーターが主体となって保護者からの預かりをスムーズに

行っていました。

お母さんたちが部屋から出ていくと空気が一変。後追いで泣き出す赤ちゃん、ハイハイしてたくさんのおもちゃに目移りする赤ちゃん、机の下に隠れて出てこないお子さんなど、サポーターたちは困惑した表情を見せながらも、子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらおうと奮闘していました。

託児終了後はお母さん方を交えて託児の報告を行いました。お母さん方から下記のような感想があり、少しの間だけ子育てから解放され、リフレッシュした様子でお子さんたちを迎えていました。

頑張ったサポーターの皆さん、この体験を生かして休日出勤時の託児、短時間の預かりでのご活躍を期待しています。



預けた保護者の感想

今振り替えると、同時に子供を預けて、ママ達と一緒にランチタイムを過ごす事が出来たから、心配になる事が無かったのだと思います。

もし子供を預けて一人で食事をしたり、買い物をして過ごしていたら、こんなにリフレッシュは出来なかつただろうと思います。

実を言うと私、子どもを預けるのは手放して喜べる状態ではなく、夫が「見とくから映画に行ってくれば」と言ってもなかなかいけなかつたりします。1回目の託児参加のときはやっぱりずっと気になって、頭から離れなかつたのですが、1回目のときよくしていただいて、2回目は少し安心して、忘れていた時間が長くなったような気がします。ありがとうございました。

これからお互いに少しずつ離れる練習をしています。

娘が産まれて、これまでに託児を利用するどころか、実家等の家族に預けたことも無かったので、大学生の皆さんに預けるまでは正直なところ、不安が大きかったです。不安というのは、預ける事に対してというよりは、娘が皆さんに迷惑をかけないだろうか...という面です。

娘は、我が家は主人が単身赴任中なこともあり、殆どの時間を私と二人で過ごしているため、知らない人の抱っこが苦手なようです。何とか「人見知りしない子」に育てたいという思いもあり、今回のようなイベント事には積極的に参加するようにしているところです。

しかし、不安は的中でした。託児会場まではご機嫌だったのに、お姉さんに抱っこしてもらった途端に泣き出してしまって...。何とか申し訳ない気持ちでしたが、「授乳もしたし、お腹はいっぱいはずだから大丈夫!」と言い聞かせ、ママ達とのランチに行かせて頂きました。娘の泣き顔を見て教室を後にしたので、ランチ中も娘の事が気になるかも...と思ったのですが、意外とそんな事もなく、忘れるとまではいきませんが、しっかりママランチ会を楽しむ事が出来ました。ママ達との会話はやっぱり子供の話題でしたが（笑）、じっくり会話に集中出来ましたし、ママ同士の絆も深まったように思います。

注目

【開催予告】全学研修会 新米パパママ講座 「新米パパの子育て」

～かけがえのない子どもの今に寄り添う～

病院に勤めながら、男性で育児休業を取得した宮本さんを講師にお迎えして、妻の出産・赤ちゃんとのかかわりについて語っていただきます。後半は、本学の経済学部 岡田徹太郎先生にも加わっていただき、父親トークを熱く語りあっていただきます。

子どもがいる人もいない人も、かけがえのない子どもたちのために、今、何ができるのかいっしょに考えてみませんか？

香川大学では、平成22年4月にくるみんマークを取得。子育てしやすい事業所としてその取組が認定されています。



日時 平成25年12月9日(月) 13:00~14:30

講師 宮本 寛 氏

【香川県立中央病院リハビリテーション科 言語聴覚士】

(司会) 岡田徹太郎 室員

【経済学部経済学科教授・男女共同参画推進室室員】

場所 第31講義室(経済学部1号館3階)

対象 全学教職員、学生、一般

内容 標題の講演の後、質問を交えてのお父さん二人での対談

*講義として学生も参加、一般の方もご参加いただけます。(要予約)



定員364名

***ご予約をお願いします。**

メールでお申込みの方は、
下記QRコードを読み取り
必要事項をご記入のうえ
送信ください。



香川大学 男女共同参画推進室

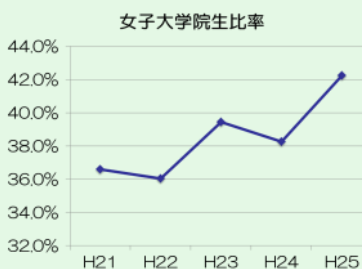
香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

電話：087(832)1055
内線：1055
ファックス：087(832)1057

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

農学部女子大学院生の比率



sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

生き生きと研究内容や学生生活を話す女子大学院生に高校生や保護者は理系進路選択の魅力を感じている様子が伺えました。



先輩・女性研究者をパネルで紹介

[illegible]

日時：平成25年11月18日（月）15:45～17:45